科目番号	54030	分類	専門科目 基礎公衆衛生看護学	履修者	高度実践公衆衛生看護コース	学年
科目名	地域精神保健論 （Community Mental Health）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 前期
担当者	○岸 恵美子	区分	必修	単位	1	時間数 15

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概　要】 地域における精神障害者の個人・家族・集団への個別支援の実践方法を学ぶ。精神障害者に対するアセスメントを通して，家庭訪問や保健指導，健康相談における支援の方法や技術を具体的に学ぶ。 【目　標】 ・日本における地域精神保健福祉活動の歴史の変遷と今後の課題が説明できる。 ・精神障害者の地域への生活を支援するための視点について説明できる。 ・精神保健相談における支援技術の一部が実践できる。	○	1.多様な課題に対応する高度な実践力
		2.地域住民の自立を養う統合的支援能力
		3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力
		4.政策や保健事業を開発する能力
		5.災害対応や振興・再興感染症への危機管理能力
		6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回	精神保健福祉の動向（制度・政策の変遷）と課題（退院支援、地域移行・地域定着）	岸
第２回	「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」に向けた自治体の 取り組みの現状と保健師の役割	
第３回	精神保健活動に必要な概念と支援の視点 リカバリー、スティグマ、メンタルヘルスリテラシー、ケアマネジメント 医学的アセスメントと生活アセスメントを統合した支援の視点	
第４回	精神保健活動①（保健所/市町村の役割・機能） 精神保健相談、家庭訪問など精神保健活動関連事業	
第５回	精神保健活動②（精神保健相談） 精神保健相談の特徴、インテイク面接の方法	
第６回	精神保健活動③（演習） インテイク面接の実際と事例検討	
第７回	精神保健活動④（家庭訪問演習） 対象者の把握方法～家庭訪問計画立案まで	
第８回	精神保健活動⑤（社会資源） セルフヘルプグループ、ピア活動の重要性と意義	

事前・事後学習	事前学習：テキストの関連箇所および各回の講義等終了時に配布した資料を通読する。 事後学習：講義資料等を復習すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。
評価の方法	授業への参加度（討議他）30%，演習 40%、レポート 30%から総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。
参考図書・資料等	◎保健学講座 3 公衆衛生看護活動展開論　メヂカルフレンド社　2022
備　　考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。